

## 中学生の「税についての作文」

福岡県納税貯蓄組合連合会 会長賞

### 祖母の支えになった介護と税金の力

大川市立大川桐英中学校

二年 近藤美心

私の祖母は、目が不自由なうえに以前腸の手術を受けました。しかし、手術の回復が悪く、日常生活に問題が出ることも増えてきました。そんな中で私たち家族の負担も大きくなりました。小さい頃から遊んでもらいお世話をしてくれていた祖母が、だんだん笑顔がなくなり、しかめっ面ばかりするようになりました。私も家族もとても心配しました。そこで親が市役所に相談したところ、「包括支援センター」を紹介されたという話を聞きました。包括支援センターとは、地域の高齢者ができるだけ自立した生活を送れるように、介護や医療、福祉に関する総合的な相談や支援を提供する機関です。その結果、祖母は訪問看護とお風呂の介助を受けられるようになりました。週に二回、祖母の家に看護師さんが来てくれます。祖母は人見知りなため、始めは、嫌がっていましたが、訪問看護師さんが祖母を一生懸命に助けてくれる気持ちが伝わり、だんだんと打ち解けていきました。

今では、看護師さんが来てくれる日を楽しみにするまでになり、祖母が元気になっていく姿を見て、私は、うれしくなりました。また、お風呂の介助では、一人で湯舟につかるこ

とが難しく危険なため、介助を受けて無事に湯舟に浸かることができた祖母が「とても気持ちよかった」とうれしそうに話していました。親は「本当に助かった」と言っており、私はその話を聞き、介護支援と税金の大切さを改めて感じました。今では、祖母の生活が少しずつ安定し、家族の負担も軽減され、ときどきですが、笑顔を見せて話すこともできるようになりました。祖母が受けている訪問看護は医療保険によって、お風呂は介護保険によって支えられていることを母から聞きました。これらは、私たちが日常生活などに支払っている税金によって成り立っています。税金がこうした形で祖母のような人々を支えるために使われていることを知り、私は、税金の重要性を深く理解ができました。

私は税金の大切さをより深く知ることができましたし、祖母が支援を受ける姿を見て、税金がいかに私たちの生活に役立っているかを感じました。税金というと、私は教科書や道路などに使われているかと思いましたが、祖母のことで、介護や医療、そして包括支援センターも税金によってできていることを知り、その役立ち方について考えることができました。これからも、国の介護支援を、受けながら、祖母の笑顔が増えるように家族みんなで楽しみを見つけて元気になれるように考えていきたいと思えます。将来、私はみんなが楽しく暮らしていけるようにこの経験を大切にしながら税金が人々の幸せにつながるようにその大切さを忘れず、感謝の気持ちを持って生きていきたいです。